

地元が震源地!? 福井大地震を教訓に! 防災教室を開催します

昭和23年6月28日に発生し、甚大な被害をもたらした福井大地震から今年で75年の節目を迎えます。その震源地が、地元 高棕東部地区の末政地係とされることから、たかとの郷づくり協議会では、この地震を教訓とし継続的に地区の防災活動に取り組んでいます。

今年度においても指定避難所である明章小学校を会場に、小学校児童と保護者、地区の各種団体、一般参加者とともに、子どもと大人が防災について一緒に学ぶことのできる防災教室を実施します。

個別訓練（小学生の部）では、毎年地区で作成している「ふくしまップ」の役割や地域福祉について児童が学ぶ機会を設けました。防災と福祉を関連付けることで災害時にどのような視点や考えが必要なのかを分かりやすく伝え、子どもたちの福祉的な意識や理解を深めます。

また、合同訓練では大人と子どもがいっしょにグループを組み、坂井市防災士の会の協力のもと、避難所運営ゲーム「HUGハグ」を実施します。グループ内で協力し、意見を出し合いながら疑似体験をするなかで、幅広い世代が連帯感を持ちながら避難所運営についての知識を深めることにつなげます。

大人と子どもが協力して意見を出し合い、楽しみながらも真剣に防災について考え取り組む様子について、ぜひ取材をお願いします。

記

と き 6月25日(日) 9:00～11:00

と ころ 明章小学校 体育館 (坂井市丸岡町油為頭第14号5番地)

参加者 明章小学校4～6年生と保護者、たかとの郷づくり協議会会員、区長、福祉関係者、希望する地区住民

主 催 たかとの郷づくり協議会・高棕東部地区区長会

スケジュール

- 8:00 スタッフ集合・会場設営
- 8:45 参加者受付
- 9:00 開始あいさつ
- 9:10 個別訓練 開始 (大人の部・小学生の部)
- 9:40 合同訓練 開始 (避難所運営ゲーム HUG)
- 11:00 閉会あいさつ、終了・解散